

子育ての悩み気軽に尋ねて

大津にサロン「ぽかぽか」

NPOが開催 専門家がアドバイス

子育ての様々な不安を抱える保護者に、専門家がアドバイスするサロンが大津市の滋賀大キャンパスで開かれている。相談相手を見つけられず、悩みをひとりで抱え込みがちなママやパパを支えようとするNPOの取り組みだ。

児童向け学習室などを運営するNPO「滋賀大キッズカレッジ&地域教育支援センター」が、サロン「ぽかぽか」を始めたのは2013年春。

大津市平津2丁目の滋賀大の一室で、月にほぼ1回のペースで開催し、就学前の子を持つ保護者が障害児教育を研究する大学教授や臨床発達心理士に直接相談できる。

「落ち書きがない」「言葉を発しない」など相談は多岐にわたり、専門家は子どもが遊ぶ様子をじっくり見てアドバイスする。NPOメンバーで、保護者の相談に乗る窪島（くぼしま）長男（ながお）は今、NPOが運営す

る

学習室に月2回通う。小学校では授業に集中できない傾向もみられるが、女性は以前より余裕を持って向き合える

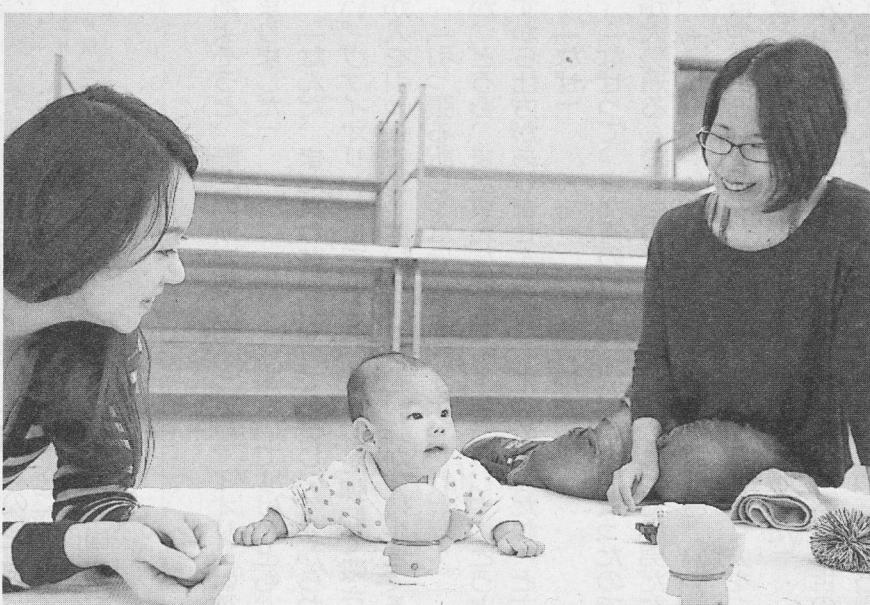
という。窪島さんは「自分の

NPOは子の発達に悩む保護者は多いとみて、ぽかぽかの気軽な利用を呼びかける。次回は27日。参加費500円（1家族）。問い合わせはNPO（077・511・9589）へ。

（菅沢百恵）

興味や関心にこだわり、読み書きが苦手。そんな特徴を正確に知ることでゆとりが持てる」。

近年増えており、相談相手がいない」と悩む保護者は、我が家が子が「発達障害かもしれない」と悩む保護者は、



サロン「ぽかぽか」を訪れた女性（右）。学校心理士（左）が子育ての相談を聞いた=大津市平津2丁目